

あなたを想う、プロになる

リエ

お た よ り

2026

7月

JULY

ご利用者とともに

苦手を自信に 変える一歩

Thank you Letter

すんへ

リエ四ツ橋のみなさまへ

PhotoTime

T.Kさま

大阪市浪速区

株式会社リエL 広報推進課 米澤

事業所一覧

【訪問看護】

リエ訪問看護ステーション四ツ橋
リエ訪問看護ステーション四ツ橋サテライト平野
リエ訪問看護ステーション港
リエ訪問看護ステーション住之江
リエ訪問看護ステーション住之江サテライト南港
リエ訪問看護ステーション鶴見
リエ訪問看護ステーション鶴見サテライト天満
リエ訪問看護ステーション西淀川
リエ訪問看護ステーション東淀川
リエ訪問看護ステーション岸和田
リエ訪問看護ステーション泉佐野
リエ訪問看護ステーション枚方

リエ訪問看護ステーション枚方サテライト大東
リエ訪問看護ステーション二条
リエ訪問看護ステーション草津
【小児特化訪問看護】
リエ訪問看護ステーションキッズ西宮
【デイサービス】
PDリハビリ特化型リエデイサービス岸和田
PDリハビリ特化型リエデイサービス泉佐野
【児童発達支援・放課後等デイサービス】
リエプラッツ本町
リエプラッツ阿波座
リエプラッツ枚方
リエプラッツくずは

リエプラッツ草津

【相談支援】

リエ相談支援本町
【サービス付き高齢者向け住宅】
リエハイム藍住
【小児向け自費教育】
リエシュレ江坂



ご利用者とともに

苦手を自信に変える一步

サービス担当者： リニエ訪問看護ステーション四ツ橋 作業療法士 白瀬

しらせ

文： 株式会社リニエL 広報推進課 米澤

よねざわ



コミュニケーションとともに、一緒に宿題をしながら字を書く練習にも取り組みます。

子どもの「苦手」に対する親の不安

皆さんは、お子さんの「苦手」にどう向き合っていますか？

小学5年生のYくんは字を書くことが苦手です。週に1回のリハビリでは、白瀬OTによる作業療法を取り入れたトレーニングを行っています。その傍にはいつもお父さまの姿。Yくんの頑張りとお白瀬OTの関わりをそばで見守っていらっしゃいます。

言い続けていたそうです。そこにはYくんの将来への熱心な思いがありました。小学校では周囲の理解や支援があります。が、中学校進学を見据えると、勉強の難化や内申点の評価、療育への配慮がどれほどあるのかという不安。字がきちんと書けないことで、今後の人生が不利になるのではと心配されています。実際に、少し前の統一テストでも、Yくんの答えは合っていたにもかかわらず書いた字が識別されず、すべて0点になってしまった出来事もあったそうです。

目の前の課題とその奥にある苦手

ただ、白瀬OTは「字をきれいに書く」ことよりもまず最初にYくんのコミュニケーションを育てることに着目しました。会話や漢字の宿題からは、Yくんがちゃんと理解していることは伝わります。



参加者と協力し、答えを言わずに会話を通してクリアを目指すカードゲームにも挑戦。

しかし、人との距離が少し近かったり興味のままに突っ走ってしまったりと、他者とのコミュニケーションが「書く」という表現にも影響していると考えたのです。

Yくんの返答を真似て、「自分がされたらどう感じる？」と問いかけ、Yくん自身に考える時間を作りながら一緒に繰り返してきたことで、意識にも変化が見られ、自身の行動を振り返ることができるようになりました。

並行して、文字を書くことへの意識も向きやすくなり、連絡帳の枠内に文字を書くことができたときには、Yくんは「自分の字を自分で読め

たから嬉しかった」と、苦手なことに向き合って成功できた自信とお父さまに褒められた嬉しさに涙したといいます。

土台を育て、小さな一歩を一緒に喜ぶ

子どもの「苦手」を前にすると、つい「早く周りと同じように」と焦ってしまいがちです。先々の進路や苦労を想像して不安になるのは、これから広がる我が子の未来を想うからこそ。

だからこそ、目の前の課題の解決を急ぐ気持ちをぐっと堪え、まずは「完璧にできること」よりも「苦手に向き合えた」という自己肯定感を育んでいきたいものです。じっくり心の土台を育て、小さな一歩を一緒に喜ぶ。その温かい見守りの先にこそ、子どもが自ら歩み出す本当の成長が待っているのではないのでしょうか。

(広報推進課 米澤)



Thank you Letter

サンキューレター

普段恥ずかしくて言えない感謝、面と向かっては言えない気持ちを「Thank you Letter」で伝えてみませんか？皆さまの心に浮かぶあの人へ、伝えたい気持ちをぜひご投稿ください。

すんへ

学生時代、スキーの宿舎で出会った日から一目ぼれでした。今もただそばにいてくれることが励みで、見守ってくれて安心しています。脑梗塞後、日常の世話までかけて申し訳ないけれど、心からありがとう。これからもよろしくね。

K.S より

リニエ四ツ橋のみなさまへ

インターホンが鳴ると『先生きたー！』と言うように大興奮！娘の気持ちも汲み取りながら身体の調整をしていただき、この時間はやりたい事が出来る楽しみな時間です。一緒に入ってるヘルパーさんも身体の勉強になると喜んでくれて良い輪が広がっています！辻先生はじめ、関わってくださる先生方、いつもありがとうございます！

千喜より

「Thank you Letter」では、読者参加型コーナーとして皆さまからのご投稿をお待ちしています！ぜひ、右のバーコードからお送りください。



PhotoTime

フォトタイム



木製プラモデル



アレンジリース



ビーズ刺繍



布アート

.....▶ **T.K さま 大阪市浪速区 80 代女性**

1つの動作が手先の筋トレ・ボケ防止とおっしゃりながら、作品作りに取り組まれています。頭の中でイメージした物を形に表す能力に長けていらっしゃる、週1回訪問する度に感銘を受けています。

理学療法士 岡野
おかの

子ども特化の訪問看護ステーション 大阪市内にサテライト設置予定

リニエ訪問看護ステーションキッズ西宮 管理者 藤阪和哉（看護師）

日頃より、当ステーションの活動に温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。令和7年8月にリニエで初の子どもに特化した訪問看護として西宮市に開設した当ステーションは、令和8年5月には、看護師6名、作業療法士1名、理学療法士2名の9名体制になり、50名以上のお子さまとご家族を支えるチームへと成長しました。お子さまの成長発達についてのご両親からの相談と助言、他職種と連携した医療的ケア児の入浴介助、ご両親と一緒に子どもの成長を支えていくなど、私たちはお子さまとご家族が笑顔になれる毎日を大切にしています。

このたび、大阪市内へサテ



ライトを開設する運びとなりました。大阪市内でも児童発達支援・放課後等デイサービス「リニエプラッツ」などのお子さまと関わる中で、支援を必要とするご家庭がまだたくさんあると感じています。西宮で培った経験を活かし、大阪市内でも「子どもと家族が自宅で安心して過ごせる毎日」を全力で支えてまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

企業対抗駅伝2026 大阪大会に参加しました

リニエ訪問看護ステーション東淀川 所長 越中啓介（理学療法士）

5月17日（日）に「企業対抗駅伝2026大阪大会」が開催され、各事業所から有志で13名の社員が5キロ×5名の部と、2キロ×10名の部に参加しました。当日は30度を超える気温でしたが、無事に全員完走することができました。

この大会には社員の運動不足解消、健康増進や社員間の交流を目的に毎年参戦していますが、さまざまな企業や団体との交流の場にもなっています。日ごろからお世話になっている、西淀川区の病院や東淀川区のクリニックの先生や職員の方々にもお目にかかり、改めてのご挨拶や情報共有を行いながら関係構築を図る良い機会となりました。

ご利用者の生活を支える



ためには医療・介護・福祉など多職種との連携が欠かせません。大会を通じて深められた「顔の見える関係」は地域のネットワークを広げ、ご利用者やご家族の皆さまへのより良い支援につながるものと考えています。今後もこうした機会を大切にしながら、地域に貢献できる事業所を目指してまいります。

・・・リニエおたよりへのご意見、ご感想はこちら・・・

リニエおたよりは皆さまとともに作る広報紙を目指しています。ご意見、ご感想などございましたら郵送・メールFAX・スタッフへのご伝言など、様々な方法でお待ちしております。

【リニエグループ広報】 メールアドレス: pr@linie-group.jp FAX: 06-6684-8906

